

ふくしま復興かけはしツアー



福島・相双地区のこれからを一緒に考えてみませんか？

福島市・相双地区（相馬市・南相馬市・新地町）は、多くの市民や地域自治体・企業・NPOなどを通じて地震・津波・原子力災害の被害から立ち上がるため様々な取組みが行われています。

一方で、報道では伝わっていないふくしまの現状が存在し、

原子力災害の被害が深刻な地域では住民の帰宅が叶わぬ地域が存在すること、放射能汚染により農業や漁業が再開できないこと、沿岸部では原発のみならず津波による被害も甚大であることなども現実です。

本ツアーは、福島・相双地区で復興に正面から向き合う「人」と被災地を語り、それぞれの震災後の軌跡を伺い
これからのふくしまを一緒に考えるツアーです。

相馬ご案内

相馬・松川浦の被災状況を、水産加工を営む高橋様にご案内いただきます。高橋さんは津波でご自身の水産加工場が全壊、自宅も大規模半壊し、現在は仮設住宅に住みながら相馬の産業復興を目指しています。震災直後から始めた”朝市”を通じたつながりが生み出した、甘酒入りの塩辛、秋田しょっつるで漬けた松前漬など、新しい加工品の開発エピソードを伺い、復興に向けて歩み始めた相馬を“味わいながら”感じることができます。



南相馬ご案内

鹿島区・原町区・小高区という、南相馬の3地区をご案内し、震災後も地元で商売を続ける方々にお話を伺います。今なお人の住めない小高区では、避難中の小高区出身の方々と共にバス移動し、人のいなくなった町の震災後の現状をご案内いたします。小高区民とのざっくばらんな交流を通じて、故郷へ帰れないというのがどういうことであるのかを肌で感じ、避難区域見直し後の相双地区の今後について共に考えていただきたいと思います。



皆様のご都合に応じて、ツアーコースの変更も可能です。まずはご相談ください。

ツアー行程の例

1日目

19:00 東京駅鍛冶屋橋バス停 発

移動

・現地briefing、参加者間の自己紹介・ワークショップ等を通じて、本ツアーに向けた準備を行います

23:00 松島屋旅館（福島市・飯坂温泉） 着

・軽食、温泉、宿泊

就寝

2日目

09:00 松島屋旅館（福島市・飯坂温泉） 発

移動

10:30 【1】 相馬市

ーご案内：高橋さん（NPO法人相馬はらがま朝市クラブ理事長）

- ・相馬港の被災状況を視察
- ・水産食品加工工場の紹介
- ・昼食とお買い物 @喰う処「報徳庵」

13:00 相馬市 発

移動

13:30 【2】 南相馬市

ーご案内：久米さん（NPO法人浮船の里 理事・小高住民）
他地元商店主の方

- ・小高市街地・警戒区域境界（※浪江町）
- ・沿岸部の視察
- ・道の駅南相馬でのお買い物休憩

16:00 南相馬市 発

移動（※飯館村経由）

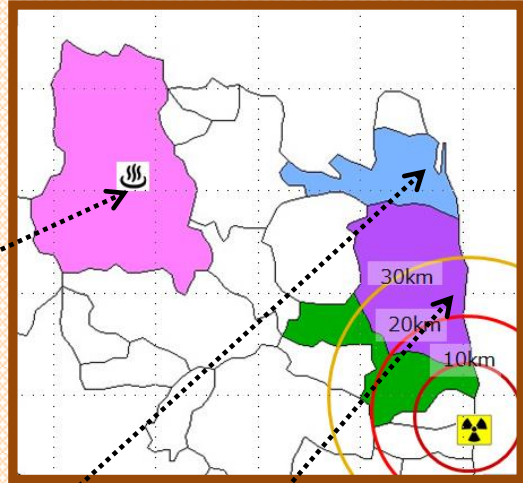
17:45 「かーちゃんふるさと農園 わいわい」（福島市） 着

・弁当購入※1・お手洗い休憩・お買い物

18:15 「かーちゃんふるさと農園 わいわい」 発

移動

22:00頃 東京駅付近 着



色付部分：ご案内対象自治体

【料金目安】 23,500円/人

- ・20名様・1泊・3食（夕朝食）
- ・出発時間・ご予算ご相談ください

※1：2日目夜弁当は、1日目出発時点でのお申込制（別途500円）となります

Q & A

Q：準備するものはありますか？

A：基本的にはバス移動のため、特にご準備いただくものはありません。災害の影響を受けた地域ですので、華美でない動きやすい服装、歩きやすい靴でお願いします。

Q：放射能の影響はありますか？

A：福島市内で0.5μSv/h、相双地区で0.2μSv/hという値で推移しており、滞在によって健康を害することはありません。また、ご紹介する食品は、すべて放射能検査をクリアしたものを使用しています。

ご宿泊場所例

松島屋旅館（福島市）

飯坂温泉（福島市）に位置する松島屋旅館では、震災翌日から避難者を受け入れ続けた体験を、気さくな女将さんから伺うことができます。



お問い合わせ



※ツアーは、一般社団法人Bridge for Fukushima・Bridge and Associates Consulting合同会社・福島交通観光株式会社（観光庁長官登録旅行業第1034号（社）日本旅行業協会正会員 本社/福島県福島市東浜町7-8 総合旅行業取扱管理者 支倉文江）による共同企画となります。

お問合せフォーム：<http://bridgeforfukushima.org/>
メール：bridgeforfukushima@gmail.com

電話：090-7710-7281（担当：加藤）

※お体の不自由な方、ご高齢の方も、安心してご参加いただけます。事前にその旨、ご連絡賜れば幸いです。